

2007年度 大学院法務研究科

法学既修者認定試験

刑 法

(問 題)

問題 1

不良グループのリーダー格である甲は、そのメンバーである乙と共に、グループを脱退しようとしたXを痛めつけようと共謀し、夜間、マンションの一室でXに対して殴る蹴るといった暴行を加えていたが、途中で乙が「このぐらいで許してやろうよ」と言ったことに腹を立てて、乙を殴って気絶させた。その上で、甲は、さらにXに対する暴行を継続し、Xの鼻の骨を折るなどしたところ、Xは暴行から逃れようとして、現場のマンションから外に飛び出し、500メートル離れた用水路に飛び込んだが、Xには心臓疾患があったために心臓麻痺を起こして死亡した。

甲・乙の罪責を論ぜよ。

問題 2

甲は、公園横を車で通り過ぎようとしたところ、友人の乙が不良仲間に取り囲まれ、その仲間の1人であるAからバットで殴られそうになっているのを目撃したので、乙を救助して車に乗せてその場を立ち去ろうとして急停車して、自車をAに向けて急後退させAを乙から追い払おうとした。その結果、Aは甲の車に接触し道路上に転倒し両足・両手を負傷し、さらに乙もその車に轢かれて瀕死の重傷を負った。そこで、甲は、いったんは乙を病院に搬送しようと思ったが、やばいことになったと思い、その場を立ち去った。そのため、乙は救助が遅れて死亡した。

甲の罪責を論ぜよ。(特別法違反の点は除く)